

棘皮動物の左右非対称性の確立分子メカニズム

～左右相称動物の体軸はどのように対応しているのか～

日比野 拓 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

棘皮動物と脊索動物は発生様式、左右非対称な形態形成とも大きく異なっている。棘皮動物において脊索動物の左右非対称性の確立分子メカニズムが保存されているのか調べたところ、脊索動物の発生において左側で発現するPitx2遺伝子は、棘皮動物ウニ、ヒトデの浮遊幼生の右側で発現していることが明らかになった。ゆえに左右軸そして背腹軸が棘皮動物と脊索動物の間で逆転していることが示唆される。

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの「閉じる」ボタンでウインドウを閉じてください。